

# グラウンドワーク三島・参加者募集

## ネパール大地震 支援活動報告会

2015年4月25日に「ネパール大地震」が発生し、貴重な世界遺産や建物の倒壊、8,700人以上の死亡者の発生など、悲劇的な報道が続いています。

「グラウンドワーク三島」は、5月30日から6月3日の間、ネパール日本友好協会（山梨県）と合同で、ボランティアを含め計10人で支援活動を実施しました。

30日はカトマンズ市内の被害状況調査、31日は農村地帯のヌワコット地方での米、小麦、豆など1,000人の被災者2週間分の食料を提供し、災害用バイオトイレ3基やテント20個、医療品も配りました。6月1日はパルシュタン小学校を訪問し、文房具や通学用かばんなどを120人の児童に手渡しました。また、トリブバン大学とナーヤアールヤム総合大学との人材交流を柱とした協定を締結しました。

カトマンズ市内・王宮近くで3,000人が居住する避難所の仮設トイレは1箇所しかなく、強い悪臭が周囲に漂い、素掘りの便槽にはし尿が溜まり、目が痛くなるほどでした。このままでは、雨期に入り、し尿の垂れ流しや拡散による感染症の拡大、周辺井戸の水質汚染など、子どもたちへの肺炎や赤痢、チフスの蔓延を含め、環境被害・健康被害の重症化・深刻化の危険性を実感しました。

そこで、今後の本会の支援活動は、8月を目途に10基の「災害用バイオトイレ」（1基100人/日処理）の設置、その後、11月を目途に3基の「常用バイオトイレ」（1基1,000人/日処理）の設置を目指し、募金・支援活動を継続いたします。

今回、本会の具体的な支援活動と現地の厳しい現状をお伝えする「報告会」を下記のとおり開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時 平成27年6月20日（土）16:50～18:00
2. 場所 三島商工会議所1階TMOホール（三島市一番町2-29）
3. 講師 渡辺 豊博（グラウンドワーク三島専務理事、都留文科大学教授）
4. 内容 グラウンドワーク三島によるネパール支援活動の概要
5. 申込み 不要。直接会場にお越しください。



ネパール現地での支援活動（2015年5月30日～6月3日、グラウンドワーク三島撮影）



NPO法人グラウンドワーク三島 事務局（担当：スプリチャル修平・山本実生）

〒411-0857 静岡県三島市芝本町7-11 TEL 055-983-0136 FAX 055-973-0022

Eメール info@gwmishima.jp

URL <http://www.gwmishima.jp/>

150608